

割印

調理業務従事証明書の証明印で割印をする

【記入例2】(異なる勤務形態が混在する場合)

調理業務従事証明書内訳書

受験者氏名	千葉太郎
受験者生年月日	昭和平成40年10月10日

調理業務従事証明書に記載した従事期間と同じ内容

①	勤務施設で調理の業務に従事した期間	昭和平成20年4月1日から昭和平成24年5月1日まで	計 3年 7月
②	勤務形態 (勤務日数及び時間)	左欄の勤務形態で継続して従事した期間 ※原則として週4日以上1日6時間以上の勤務形態期間について記入	
	4日/週、6時間/日	昭和平成20年10月1日から昭和平成20年12月31日まで	計 年 3月
	5日/週、6時間/日	昭和平成21年1月1日から昭和平成22年3月31日まで	計 1年 3月
	5日/週、7時間/日	昭和平成22年4月1日から昭和平成24年5月1日まで	計 2年 1月
	日/週、時間/日	昭和平成 年 月 日から昭和平成 年 月 日まで	計 年 月
	日/週、時間/日	昭和平成 年 月 日から昭和平成 年 月 日まで	計 年 月
	日/週、時間/日	昭和平成 年 月 日から昭和平成 年 月 日まで	計 年 月
	日/週、時間/日	昭和平成 年 月 日から昭和平成 年 月 日まで	計 年 月
	日/週、時間/日	昭和平成 年 月 日から昭和平成 年 月 日まで	計 年 月
	日/週、時間/日	昭和平成 年 月 日から昭和平成 年 月 日まで	計 年 月
合計			③ 計 3年 7月

一致

①の「勤務施設で調理の業務に従事した期間」の計と一致すること。

調理業務従事証明書の「勤務日数及び時間」欄には『別紙内訳書のとおり』と記入してください。

【注意事項】

- (1) ①の欄は、調理業務従事証明書の「上記の施設で調理の業務に従事した期間」と同じ内容を記載すること。
- (2) 内訳書の上部と調理業務従事証明書の証明者氏名欄に証明印(実印又は職印)で割印をすること。